



プレスリリース

令和8年(2026年)8月24日

(計1枚/表裏)

西東京市広報プロモーション課 TEL 042-460-9804

## 「児童発達支援センターひいらぎ」が開所60周年 —「地域の中の居場所づくり」先駆けの半世紀とこれからの支援—

今日、国や自治体において「子どもの居場所づくり」の重要性が高まる中、半世紀以上前からその実践を重ねてきた西東京市「児童発達支援センターひいらぎ」が、令和8(2026)年に開所60周年を迎えます。昭和41(1966)年、旧保谷町が全国に先駆けて公立施設として開設。時代ごとの節目で支援体制を進化させ、令和4年の法改正を機に本市の児童発達支援の中核を担う「センター」として位置づけるなど、このまちの地域の発達支援を支えてきました。

このたび、60年の節目を記念し、これまでの歩みを振り返るパネル展示や講座等を開催します。

### 1 「ひいらぎ」開設の背景と60年の歩み(3つの変革)

#### ・公立施設としての開所(昭和41年～)「ひいらぎ教室」

障害のある子どもの受け入れ先がほとんど無かった時代、「地域の中で安心して過ごせる居場所を」という保護者の声を受け、全国的にも先進的な、公立の障害児施設として誕生しました。

#### ・「地域の中ではぐくむ」支援への転換(開所20周年)「こどもの発達センターひいらぎ」

ひいらぎ自身が地域に開かれた療育の場所として地域に根づくために、施設内にとどまる支援から大きく舵を切り、「地域療育支援システム」を構築し、地域連携の土台を築きました。

#### ・センターとしての新たなスタート(令和4年～)「児童発達支援センターひいらぎ」

児童福祉法の改正(令和4年)を機に支援体制を再構築し、現在の「児童発達支援センター」へ改組。関係機関と連携を図りながら、タイムリーに、子育てにつながる支援を行い、子どもの発達を応援する施設として、支援機能を整え、地域の発達支援の中核拠点となりました。

強化してきた中核機能を確保し、今後はさらに、関係機関との連携による重層的支援体制を構築し、発達に心配のある子どもやその家族が、この街のどこでも安心してすごせる地域づくりを目指します。

これからも、地域に親しまれ信頼される存在であり続けるよう取組を進めます。

### 2 児童発達支援センターひいらぎの独自の取組

#### 「児童発達支援ステップアップ・ミーティング」

障害や発達に心配・課題のあるお子さんとその家族が地域で安心して暮らせるよう、行政・福祉・教育関係機関・民間事業者・保護者が一堂に会し、発達支援のニーズについて協議するとともに、顔の見える関係づくりを通して連携を深め、地域の支援ネットワークを強化する取り組みとして実施しています。

### 3 60周年記念事業の概要

#### (1)60周年を振り返るパネルの展示(【ルピナスまつり内】「ひいらぎ60周年」ブース)

内容 ・開設当時から現在に至るまでの歩み(年表の展示等)  
 日時 【ルピナスまつり】令和8年10月4日(日)10時30分から14時30分まで  
 場所 住吉会館ルピナス

#### (2)公開講座(市内関係機関向け)

内容 「園訪問から見えた障害児のインクルーシブ保育の実践」  
 ・令和7年度より実施している市内保育園・幼稚園への「ステップアップ・訪問(巡回相談)」の実施報告  
 ・訪問にまつわるひいらぎの歴史

講師 ひいらぎ巡回相談担当、元ひいらぎ所長 相馬 明美氏  
 日時 令和8年10月22日(木)14時45時から16時30分まで  
 場所 住吉会館ルピナス

#### (3)市民講座(市民向け)

内容 「発達が気になる子どもの未来に向けて～学校卒業後の生活を考える～」  
 ・発達が気になるお子さんの学校卒業後の進路や生活についてのお話し  
 ・講座終了後、「60周年を振り返るパネル展示」と合わせて保護者の方々の交流・懇談の場あり

講師 星槎大学教授、市内生活介護事業所代表理事 平 雅夫氏  
 日時 令和8年11月30日(月)10時から12時30分まで  
 場所 住吉会館ルピナス

---

問合せ先      子ども若者部 子ども家庭課長 堀      電話 042-439-3511